

【なぜ近年の屋根材は安易に塗装してはいけないのか？】

調査依頼のお電話が後を絶ちません！皆様も屋根を御確認下さい！

[事例A：近年一番問題になっている屋根材です]

正常な屋根材



異常な劣化状況の屋根材



正常な屋根材



異常な劣化状況の屋根材



屋根材(スレート)本体が、ミルフィーユの様に層になって剥がれ崩れていく症状です。

[事例B：かけ落ち及び空洞化が多い屋根材です]

かけ落ちと空洞化



かけ落ちと空洞化



かけ落ちと空洞化



かけ落ち多発



屋根材(スレート)本体が、内部からかけ落ち空洞化していく症状です。

日頃ポスティング業務を行なっている際に、**この屋根材に塗装工事を行なってしまったお宅をよく目にします**。どのような御提案を受けられたのか？疑問です。施工済の方の中には「**知り合いの業者でそうされてしまい、付き合いがあって言いにくいし、信頼してたのにとってもショック！**」との声もございました。

皆様のご自宅の屋根に、このような症状がありませんか？是非、屋根をご覧になってみて下さい！

双眼鏡があると便利です。お持ちでない皆様にはお貸し出来ますので、お気軽にお申し付け下さい。



※危険ですので絶対に屋根には上らないで下さい。

このような屋根材は、塗装するだけでは守りきれません！密着不良を起こしてしまいます。

塗料メーカーも、塗膜の密着は、**屋根材自体が安定している事**が大前提としています。